



つくしセンターニュース

2011年も残すところあとわずかとなりました。振り返ってみても3月11日の大震災が今年を象徴する出来事だったのではないのでしょうか。たくさんの被害が出て、今もなお避難所生活を余儀なくされている現実。そして放射能汚染による多大なる影響。復興までは、まだまだ道のりは長いけれど、あの日から着実に新たな日本へ、新たな住みよい街へ、前進していっていると信じていいのではないのでしょうか。我々の生活でも、災害をこれほどまでに身近に感じ、危機感を覚えたことはなかったのではないのでしょうか。我々の日常で、できる対策、備え、節電、節約・・・重要性をひしひしと感じました。これは今までも大切なことだったけれど、どこか自身の中でぼんやりしていたところだったと思います。大震災から9ヶ月たった今、皆さまのお気持ちはいかがでしょうか。被災地が元通りになるまで、被災により傷ついた心が少しでも元気になるために、一人一人ができることを更に探求する2012年になると思います。結果的にそれが、住みよい地域づくりになることを祈って・・・。

はさ木フェスタ！ご来場ありがとうございました。

10月2日(日)第11回はさ木フェスタが開催されました。うどん、たこ焼き、ラーメン、パン料理コンテストに和菓子作り体験など催しが盛りだくさん。特別講演では、糸魚川市フォッサマグナミュージアム学芸員の宮島宏氏がユーモアを交えて『大地のロマンを語る』と題して講演されました。つくしセンターからも移動喫茶つくしんぼを出店。ホットコーヒー、オレンジジュース、ケーキやドーナツなどを販売し盛況でした。後半、あいにくの雨模様となり、急ぎ足での後片付けとなりました。ご来場下さった皆様、ありがとうございました。移動喫茶つくしんぼに勤務された皆様大変お疲れさまでした。



一泊研修旅行群馬伊香保温泉



10月13日(木)～14日(金)の両日、今年度つくしセンターの一大イベントであります、つくしセンター一泊研修旅行を行いました。今年は参加者総勢21名。上越市福祉バスをお借りし、群馬県の名湯『伊香保温泉』へ行ってきました。

1日目はドイツ村にて、かわいい動物と触れ、アイスクリーム手作り体験を行いました。そして、伊香保温泉ホテル松本楼に宿泊。お湯よし、食事よし、サービスよし。宴会では、カラオケで大変盛り上がりしました。



2日目は、眺望『榛名湖』へ。天候にも恵まれ、いい景色を堪能しました。昼食には、日本3大うどんの一つ、水澤うどんに舌鼓を打ち、各々お土産を買い、帰路につきました。

2日間という限られた時間ではありましたが、普段とは違う皆さまの一面に触れた気がします。事故やケガもなく無事行って来られて何よりでした。

調理実習お好み焼き



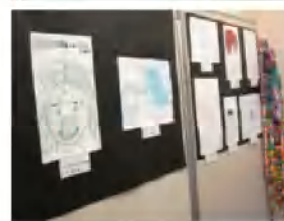
11月28日(月)上越市福祉交流プラザ内調理実習室にて、お好み焼き調理実習を行いました。9名の方が参加され、みんなで協力しながら、オリジナルあふれるお好み焼きを焼き、召し上がりました。調理実習はやはり人気がありますね。また計画していきたいと思っております。以下参加者からの感想です。

「美味しかった」「初めての参加だったが楽しく過ごせた」「お土産分も出来て良かった」「生まれて初めて作ったが美味しく出来た」「お花見で買ったお好み焼きも500円だったが、今日の方が美味しかった」



平成23年度 精神保健福祉フォーラム

地域で暮らす！魂の叫び熱く！！



12月3日(土)精神保健福祉フォーラムが行なわれました。会場である、市民プラザ第3会議室に100名近くの方が集まりました。

第1部は『地域の資源を最大限に活かす』というタイトルで、退院促進事業を使って、地域生活を送る方とその支援者の方々からの実践報告が行なわれました。退院促進事業とは、長い間、入院されてきた方に対して、その方のご希望にそって、障害者地域生活支援センターの専門相談員等が退院に向けて支援し、その後地域生活を応援する事業です。今回ご登壇された方は、退院に向けて、様々な不安な気持ちや困難がありながらも、支援者の方を信頼できたからこそここまでこれた・・・とおっしゃっていました。また支援者側からは、ハンディキャップがありながら地域で暮らし、堂々と発表される本人の姿をみて感極まる場面もありました。

第2部では、当事者からのメッセージ『魂の叫び』ということで、3名の方から詩や弾き語りの発表をしていただきました。日頃の皆さんの思いをダイレクトに伝えられる貴重な機会となり、来場者は真剣に耳を傾けておられました。会場の入口では、当事者の方が作製された、絵・詩・習字等の作品が展示され、こちらも秀逸な作品が多く、興味深かったです。今後もこのような発表の場があればお知らせしていきたいと思っております。

発表者募集！！ 地域で暮らす皆さまの生の声をお聞かせください

新潟県精神障害者社会復帰施設協議会では、平成24年3月1日(木)地域移行推進員フォローアップ研修を開催する予定です。その中で『生きづらさを分かって～もう病院へは戻りたくない～』というタイトルで、病院での入院治療を経て、現在地域で暮らされる皆さまの生の声を発表していただける方を募集しています。地域での生活の良さ、大変さ、周りからの理解のされにくさなど日頃思っていること、感じていること、こうして欲しいと思っていることを多くの方へ発信できる良い機会です。発表時間は15～20分程度、謝礼と交通費もご用意しております。

発表してもいいよー。と言う方はぜひつくしセンターまで連絡ください。

第15回チャリティつくしツリー 募金総額 252,759円



11月22日から行なってきました第15回チャリティつくしツリーですが、今年は、252,759円の募金が集まりました。たくさんの方々よりご協力して下さい、ありがとうございました。寄付先は以下の通りです。

福島県(福祉施設)	170,000円
NHK歳末助け合い	30,000円
ふくしのひろば	50,000円
つくし基金	2,759円



福島県の福祉施設へは、先に行われた東日本大震災被災者支援チャリティつくしツリーにて集められた、募金433,456円と併せて、合計603,456円の寄付をする予定です。よろしくお祈りいたします。

クリスマス会では山崎美矢子様、はるか様のフルート、ピアノのミニコンサート、大抽選会で楽しみました。会場には2人のサンタクロースも駆けつけ盛り上げてくれました。

皆さまのご協力、本当にありがとうございました。



※業務の都合により、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

- シャトルカーのお知らせ
- ①申込みは前日までお願いいたします。(開館時間中にお)
 - ②喫茶・軽作業活動に参加される方のお迎えはできません。(送りは可。最長午後3時まで)
 - ③地活登録者で聴い・レク活動等に参加される方限定です。

今年一年ありがとうございました。
来年も良い年になりますように。